

【北上済生会病院】紹介受診重点医療機関指定への取組みについて

要件	R5実績 (R6外来機能報告) R5.4.1~R6.3.31	R6実績 (R7外来機能報告) R6.4.1~R7.3.31	R7実績 R7.4.1~R8.3.31	R8見込 R8.4.1~R9.3.31
【医療資源重点活用外来基準】 医療資源を重点的に活用する外来に関する基準の具体的な基準 初診基準（初診の外来件数のうち「重点外来」の件数の占める割合）：40%以上かつ、 再診基準（再診の外来件数のうち「重点外来」の件数の占める割合）：25%以上	初診基準：37.2% 再診基準：27.8%○	初診基準：38.4% 再診基準：29.8%○	初診基準：42.3%○ 再診基準：41.2%○	初診基準：42.3% 再診基準：41.2%
【基準未達の場合の活用水準】 紹介・逆紹介の状況 紹介率50%以上 逆紹介率40%以上	紹介率：35.0% 逆紹介率：43.5%○	紹介率：53.6%○ 逆紹介率：38.9%	紹介率：62.8%○ 逆紹介率：49.9%○	紹介率：71.3% 逆紹介率：60.1%

1. 昨年度の取り組み状況の進捗

(1) 初診時の画像検査等の促進（高額等の医療機器・設備を必要とする外来に該当）

初診時の検査等を充実することにより初診の重点外来の割合を伸ばすように各診療科とヒアリングを実施。

（特にCT・MRI・心エコーの件数増加に注力）

・高額等の医療機器・設備を必要とする外来（初診）

R6 1,478件 → R7 1,612件（+134件）（うち CT・MRI △41件、心エコー +153件、それ以外 +22）

(2) 外来化学療法の実施と強化

・外来化学療法延べ患者数

R6 267人 → R7 503人（+236人）（内訳：外科 +240人、消化器内科 +11人、整形外科 △15人）

【上記（1）、（2）の結果】

初診基準：紹介受診重点外来の患者延べ数（初診） R6 2,798人 → R7 2,822人（+24人）

再診基準： // （再診） R6 30,073人 → R7 30,582人（+509人）

基準を満たす患者延べ数はR6年度と比較すると結果的に初診では+24人と微増ではあったが、分母となる全体の初診患者数自体が減少したため、割合としては基準を満たす程度まで増加した。

（初診患者数 R6 7,306件 → R7 6,679件（△627件））

(3) 地域連携の推進

・中部病院をはじめとする地域の医療機関との連携により、R6年度比較で紹介率・逆紹介率ともに増加。

2. R8年度の医療資源重点活用外来基準維持に向けた取り組みについて

(1) 初診時の画像検査等の促進（高額等の医療機器・設備を必要とする外来に該当）

紹介率が向上してきたことに伴い、専門的な検査等を要する患者が増えたことから、引き続き初診時の画像検査等の実施を促進する。

(2) 紹介・逆紹介の推進

R7年度実績では、紹介率・逆紹介率ともに基準を満たしていることから、引き続き地域の関係機関との連携を強化していく。

（令和8年6月末実績：紹介率 71.3%、逆紹介率 60.1%）